

## 「川上の100年史」発刊にあたって

「川上の100年史」編纂委員会

会長 常盤 欣二

鎌倉郡川上村は北から南に向けて東海道線が縦断していたこともあり「お召し列車」を国道1号線に並び日の丸を持って見送ったことを思い出します。

東海道線の西側の子どもたちは無人踏切を渡って川上小学校に登下校するため、踏切事故に遭い尊い命を失うこともありました。

昭和40年頃から「陸の孤島」とか「横浜の秘境」などと言われた秋葉・前田・川上・名瀬・品濃町地区の区画整理事業が進められ、多くの先人たちの想いで、関東大震災で幻となった武蔵駅を新たなかたちで誘致しようと幾多の困難を乗り越え、昭和55年10月に念願だった東戸塚駅が開業しました。



戦前・戦中に生まれ、旧川上小学校で学び育ったメンバーが、元気なうちに「川上の100年史」として後世に残すことは私たちに課せられた使命ではなかろうかとの話が出され、平戸平和台・平戸・東戸塚・川上・柏尾・舞岡の6つの地区連合町内会の会長が中心になって編纂委員会を結成し、取り組む事になりました。

川上村当時、村の中心だった柏尾町が数年前「柏尾の100年史」を発刊していることもあり柏尾地区連合町内会の齋藤純一会長に編集委員長をお願いし、2019年4月1日に戸塚区が区制80周年を迎えることに併せ発刊することとしました。

しかし、全ての編纂委員が川上地区で育ったわけではないため、各地区の主だった地域を歩き、史跡などを実際に学ぶことから始め、毎月1回の編纂委員会と平成30年2月からは編集委員会も毎月開催し行政や関係機関の協力を頂きながら取り組んできました。

地域の古老を始め多くの方々から語り残したいお話しを数多く頂き、また編纂委員の中での個々の考え方に違いもありましたが、メンバー各位の理解と協力により、ようやくここに「川上の100年史」として、発刊する運びとなりました。

最後になりましたが、書ききれないほどの情報を頂いた多くの地域の先輩諸兄、またご丁寧に指導をいただいた行政や関係機関の皆様から心から感謝申し上げ、「川上の100年史」を通して、故郷「川上村」の歴史が後世に語り繋がれていければ幸いです。

## 「川上の100年史」発刊に寄せて

横浜市戸塚区長 田 雑 由紀乃

「川上の100年史」の完成、誠にありがとうございます。

4月1日に戸塚区が「区制80周年」を迎える、この記念すべき年に、地域の皆様方が自らの手で編纂された「川上の100年史」が上梓されたことを、本当にうれしく思います。



昭和14年(1939)に、現在の戸塚区の地域は、栄区・泉区・瀬谷区の地域とともに横浜市に編入されました。この時に、鎌倉郡川上村に中川村秋葉を加えた地域が「川上地区」として一体となった活動が始まりました。もちろん、地域には、この時よりはるかな昔から人々の営みがありました。縄文時代の竪穴住居跡の遺跡や平安時代に創建された神社もあるなど、各時代の人々の暮らしが現在に至るまで、途切れることなく連綿と続いていることに、あらためて感慨を覚えます。

歴史的にも大きな価値のある資料や、古老が言い伝えている伝承遺産などの地域の貴重な文化財を、次世代に伝え引き継いでいくことは、私たちが行っていかなくてはならない大切な取組です。区としても、戸塚区制80周年のキャッチフレーズ「歴史と未来のまち とつか」に表されるように、生まれ育った戸塚に思いを寄せ、地域の絆を未来に向かって育む『こころ豊かな戸塚』を地域の方々と一緒に創ってまいります。

この100年史は、現在地域にお住まいの方々にはもとより、これからの地域の未来を担う若い方々にも、是非ご覧いただきたいと思えます。豊かな郷土の成り立ちが生き生きと伝わってきますし、先人の苦勞と熱い心意気にも触れることができますので、お読みになった方々の心の中に、より一層の郷土愛をかきたてる原動力となっていくものと思えます。このような意味で、「川上の100年史」は、旧川上地区にお住まいの皆様のみならず、広く戸塚に関わる方々の共有の財産となるものです。



編纂委員会が設立されたのは平成29年4月とのことです。が、明治25年創立の旧川上小学校で学んだ人たちが元気なうちにこの地区の歴史を振り返り、旧川上地区の記念誌を作りたいという着想から実際の上梓に至るまでには、3年以上の年月を費やしたと伺いました。その間、多くの会議、そしていつにもましてたくさんのコミュニケーションの回数を重ねながら、内容を練り上げていったことが拝察されます。

編纂に携わられ、戸塚区の郷土史に大きな足跡を残していただいた平戸平和台・平戸・東戸塚・川上・柏尾・舞岡の各地区の方々、また、貴重な資料のご提供やいにしえのお話をお聞かせいただきました多くの方々に、深く敬意と感謝を表し、あわせて、これまでの100年にも勝るこれからのすてきな100年となるよう地域を盛り上げていただくことをお願いして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

# < 目 次 >

「川上の100年史」編纂について .....	i
------------------------	---

編纂委員会会長 常盤 欣二  
横浜市戸塚区長 田雑 由紀乃

川上100年の歩み .....	viii
-----------------	------

<b>I 旧川上連合町内会編</b> .....	1
--------------------------	---

1. 旧川上連合町内会の沿革 .....	2
2. 平戸平和台地区連合町内会の沿革 .....	5
(1) 江戸時代の平戸平和台 .....	5
(2) 平戸平和台の誕生 .....	5
(3) 平戸平和台の現在 .....	6
(4) 蒔田野桜 .....	6
3. 平戸地区連合町内会の沿革 .....	7
(1) 平戸地区の発足と昔の生活 .....	8
(2) 平戸果樹の里 .....	8
(3) 川上公園 .....	9
(4) 現在の連合町内会の状況 .....	9
4. 東戸塚地区連合町内会の沿革 .....	12
(1) 歴史 .....	12
(2) 連合町内会としての主な活動 .....	13
5. 川上地区連合町内会の沿革 .....	15
(1) 秋葉町・前田町の変遷 .....	15
(2) のどかな農村 .....	15
(3) 企業誘致と宅地開発 .....	16
(4) 秋葉踏切の立体化とテレビ等の設置 .....	17
(5) 歴代の会長と現在加入の町内会・自治会 .....	18
(6) 近年のトピック .....	18
6. 柏尾地区連合町内会の沿革 .....	20
(1) 柏尾町内会・上柏尾町内会の発足 .....	20
(2) 新たな自治会群の誕生 .....	21
(3) 歴代の連合町内会長 .....	22
(4) 柏尾地区の代表的な行事 .....	22
7. 舞岡地区連合会の沿革 .....	23
(1) あゆみ .....	23
(2) 人口の推移と舞岡地区の特徴 .....	24
(3) 歴代の会長と加入する町内会・自治会 .....	24
(4) 近年のトピックス .....	25

<b>II 史跡旧跡編</b> .....	27
-----------------------	----

1. 平戸・平戸平和台地区 .....	28
(1) 境木立場跡と焼き餅坂（別名牡丹餅坂） .....	28
(2) 境木地蔵尊（保土ヶ谷区境木本町 2-17） .....	28
(3) 萩原代官屋敷跡（平戸 3-54-1） .....	29

(4) 投げ込み塚	29
(5) 東福寺 (平戸町 299)	30
(6) 光安寺と三末寺 (平戸町 392)	30
(7) 源頼朝の白旗神社 (平戸町 302)	30
2. 東戸塚地区	31
(1) 北天院と佛光國師と新見家 (品濃町 1705-1)	31
(2) 日本最古の現役トンネル	34
(3) 品濃一里塚	34
(4) 源義経の白旗神社 (品濃町 518)	35
(5) 武蔵と相模の国境の道	35
(6) 熊野神社 (川上町 318)	35
(7) 徳翁寺 (川上町 546)	36
3. 川上地区	37
(1) 蓮久寺 (前田町 406)	37
(2) 日枝神社 (前田町 216)	38
(3) 長蔵寺 (秋葉町 348)	38
(4) 増威八幡社 (秋葉町 343)	39
4. 柏尾地区	39
(1) 鎌倉ハムの由来 (柏尾町 183)	39
(2) 王子神社と護良親王 (柏尾町 939)	38
(3) 益田家のモチノキ (柏尾町 1005)	40
(4) 成正寺 (柏尾町 1221)	41
(5) 大山不動尊 (横浜市地域史蹟・柏尾の大山道道標) (柏尾町 486)	42
(6) 供養塚の由来 (柏尾町 757 県営柏陽台アパート内)	42
(7) 小石川家の土蔵 (柏尾町 544)	43
(8) 御嶽神社 (上柏尾町 249)	43
(9) そとごう遺跡 (上柏尾町 52x~53x 付近)	43
(10) 赤関橋と岩下染色水洗工場 (上柏尾町 490 付近)	44
5. 舞岡地区	45
舞岡の地名の由来	45
(1) 郷土の歴史に詳しい圓福寺住職からの口述史実	45
(2) 舞岡の最古の寺「東光寺」	46
(3) 舞岡の歴史を刻む旧東光寺の梵鐘	47
(4) 舞岡の心のふるさと舞岡八幡宮	48
(5) 戸塚区に残る一つだけの行人塚 (南舞岡 3 丁目 19)	49
(6) 長泉寺の六地藏 (舞岡町 3492)	50
<b>III 生活の移り変わり編</b>	51
1. 人口の推移	52
2. 道路	55
3. 鉄道	58
4. 乗合バス	60
5. 電気	62
6. 水道	64
7. 下水道	66
8. 燃料 (ガス)	68
9. 通信	69

<b>IV 地域学校編</b> .....	71
1. 「川上の 100 年史」の発刊に寄せて .....	72
2. 川上小学校の沿革 .....	72
3. 昔の「川上小学校」の思い出 .....	74
4. 宝物が一杯の「茶箱」 .....	79
5. 難波副校長について .....	83
6. 旧川上地区の小学校群について .....	84
(1) 旧川上地区の小学校の分離独立の流れ .....	84
(2) 旧川上地区の小学校群 .....	84
① 横浜市立川上小学校 .....	85
② 横浜市立境木小学校 .....	85
③ 横浜市立柏尾小学校 .....	85
④ 横浜市立川上北小学校 .....	86
⑤ 横浜市立平戸小学校 .....	86
⑥ 横浜市立平戸台小学校 .....	86
⑦ 横浜市立南舞岡小学校 .....	87
⑧ 横浜市立品濃小学校 .....	87
⑨ 横浜市立秋葉小学校 .....	87
⑩ 横浜市立舞岡小学校 .....	88
⑪ 横浜市立東品濃小学校 .....	88
<b>V 関係行政機関編</b> .....	89
1. 神奈川県警戸塚警察署の紹介 .....	90
(1) 戸塚警察署からのご挨拶 .....	90
(2) 現在の戸塚警察署 .....	90
(3) 沿革 .....	91
(4) 関東大震災の惨事 .....	91
(5) 戦中の時代 .....	91
(6) 戦後の時代 .....	92
(7) 戦後川上地区の主な出来事 .....	93
2. 戸塚消防署の発足 .....	94
(1) 戸塚消防署からのご挨拶 .....	94
(2) 沿革 .....	94
(3) 現在の戸塚消防署 .....	95
(4) 川上地区内の消防出張所 .....	95
○吉田消防出張所 .....	95
○東戸塚消防出張所 .....	95
3. 川上地区消防団の歩み .....	95
(1) 編成と区域 .....	95
(2) 近年の戸塚消防団の組織（平成30年現在） .....	96
4. 川上地区郵便局の変遷 .....	97
(1) 郵便ポストはなぜ赤い？ .....	97
(2) 川上地区内の郵便局 .....	98
(3) 開局順の郵便局 .....	98
5. 川上地区内の地区センター .....	100
地区センターのあゆみ .....	100
(1) 東戸塚地区センター .....	101
(2) 舞岡地区センター .....	102
6. 川上地区内の地域ケアプラザ .....	103

(1) 東戸塚地域ケアプラザ	103
(2) 平戸地域ケアプラザ	103
(3) 舞岡柏尾地域ケアプラザ	104
7. 川上地区内の農業協同組合	105
(1) 横浜農協川上支店	105
(2) 横浜農協舞岡支店	106
8. 川上地区内の認可保育所	107
(1) こんにちわ・ありがとうえん	107
(2) 東戸塚こども園	107
(3) ハートの森保育園	107
(4) アートチャイルドケア東戸塚	107
(5) つくし保育園東戸塚	108
(6) YMCA東とつか保育園	108
(7) にじいろ保育園川上町	108
(8) 岩崎学園東戸塚保育園	108
(9) にじいろ保育園東戸塚	108
(10) 横浜市立川上保育園	109
(11) ニチイキッズ東戸塚保育園	109
(12) にじいろ保育園品濃町	109
(13) ちゃいれつく東戸塚駅前保育園	109
(14) ちゃいれつく前田町保育園	109
(15) うみのくに保育園とつか	110
(16) 明日葉保育園東戸塚	110
(17) キッズパートナー東戸塚	110
(18) 銀杏保育園	110
(19) 秋葉保育園	110
(20) ことは保育園	111
(21) 柏尾スマイル保育園	111
(22) わかば保育園	111
(23) メモリー保育園	111
(24) 横浜市立舞岡保育園	111
9. 川上地区内の幼稚園	112
(1) 平戸幼稚園	112
(2) 秋葉幼稚園	112
(3) 舞岡幼稚園	112
<b>VI 特別編</b>	<b>113</b>
1. 東福寺について（平戸町299）	114
2. 植松寺跡について（環状2号線東戸塚陸橋下）	115
3. 市民の願いが結実、東戸塚駅の開発ストーリー	116
(1) 幻の「武蔵駅」	116
(2) 地元住民の願いを背負った、リーダー福原政二郎	116
(3) 東戸塚駅誘致の活動、光と陰	117
(4) 駅名の由来	117
(5) 東戸塚駅開業までのあゆみ	117
(6) 自然と文化が調和した街づくり	118
(7) 東戸塚駅と新戸塚観音堂（川上町253-4）	119
4. 横浜FC東戸塚フットボールパーク	119
5. 東戸塚商店会誕生について	120

6. 戸塚カントリーの誕生 .....	122
7. 前田町の古地図の由来 .....	123
8. 秋葉の記憶を辿る .....	125
(1) 拙い記憶と短い歴史 .....	125
(2) その他・誇れる近隣・川上の歴史 .....	126
9. 歴史を語る秋葉遺跡(秋葉町57) .....	127
10. 「前田町物語」の紹介 .....	128
11. 柏尾地区の先人たちへ感謝をこめて .....	131
(1) 加藤榮作氏の遺品から .....	131
①「思い出に残っているもの(戦前編)」 .....	132
②地券について .....	133
(2) 前柏尾地区連合町内会長 瀬田正一氏の思い出 .....	133
(3) 柏屋商店 金子基社長について .....	135
12. 横浜市立大学 木原生物学研究所の紹介 .....	136
13. 舞岡公園計画の誕生・中止・復活の記録 .....	138
14. 川上村舞岡時代の思い出 寄稿文集「川上村舞岡」 .....	142
<b>参考資料および資料提供者名 .....</b>	<b>144</b>
<b>編纂委員紹介 .....</b>	<b>146</b>
<b>編集後記 .....</b>	<b>147</b>

# 川上 100 年のあゆみ

(明治・大正・昭和・平成／地域の歩みと日本・世界の歩み)

西暦	和暦	月日	旧川上地区の概略史	日本	世界
1868	明治元年			明治維新	
1870	明治 3		英人ウイリアム・カーティス、川上村下柏尾でホテル営業		
1872	明治 5	9月19日	戸塚駅出張邏卒屯所(戸塚警察署の前身)設置		
1884	明治 17	10月	国道1号線開通		
1887	明治 20		下柏尾で鎌倉ハム製造始まる		
1889	明治 22		前山田・後山田・品濃・平戸・柏尾・舞岡が川上村となる。秋葉は中川村に編入される。		
1892	明治 25	10月1日	高等川上小学校開設		
1894	明治 27				日清戦争
1898	明治 31		鎌倉ハム 帝国海軍に貯蔵食料品として採用		
1903	明治 36	12月1日	正進学校・敬讓学校を併せ、川上小学校開校		
1904	明治 37				日露戦争
1914	大正 3	7月28日			第1次世界大戦
1917	大正 6		柏尾に電気が入る		
1917	大正 6		品濃 金子牧場開業		
1920	大正 9	1月10日		第1回国勢調査	
1923	大正 12	5月	秋葉・舞岡に電気が入る		
1923	大正 12	9月1日	川上小学校校舎倒壊 両分教場半壊	関東大震災	
1923	大正 12		戸塚～お三の宮間乗合いバス走る(5往復/日)		
1924	大正 13		国鉄清水谷戸トンネル開通(当時の貨物線)		
1925	大正 14	1月24日	鎌倉郡役所落成		
1925	大正 14		品濃～川上町貨物線増設に伴いガード完成	普通選挙法成立	
1926	大正 15	10月28日	公設消防組設置、齋藤萬治氏組頭就任		
1926	大正 15		前山田、後山田、品濃、境木に電気が入る		
1930	昭和 5	5月		横須賀線全線電化	
1938	昭和 13	7月1日	ブリヂストンタイヤ 横浜工場操業開始	国家総動員法公布	
1939	昭和 14		旧川上小学校に二宮金次郎銅像建設		
1939	昭和 14	4月1日	鎌倉郡内の1町7か村(戸塚町・川上村…) 横浜市に合併、戸塚区誕生		第2次世界大戦
1939	昭和 14	12月1日	神奈川県西戸部消防署戸塚消防出張所開設		
1940	昭和 15	2月	柏尾郵便局開局(川上地区で最初)		
1941	昭和 16	2月11日	横浜市町内会結成記念大会開催 (区内61町内会)	尋常小学校を国民学校と改称	
1945	昭和 20	3月9日		東京大空襲	
1945	昭和 20	5月29日	横浜大空襲		
1945	昭和 20	8月15日		終戦	
1948	昭和 23	3月7日	戸塚消防署発足、戸塚消防団発足		
1948	昭和 23	5月15日	川上農業協同組合設立		
1951	昭和 26	3月24日	戸塚区社会福祉協議会発足		
1951	昭和 26		「社会を明るくする運動」始まる		
1953	昭和 28	9月	川上地区戦没者慰霊碑落成式	テレビ放送開始	
1954	昭和 29		柏尾市場開設		
1955	昭和 30	2月1日	ワンマン道路開通		
1958	昭和 33	1月	戸塚山谷病院開院。現、横浜丘の上病院		
1959	昭和 34		横浜新道開通(初の有料道路)		
1960	昭和 35		ポーラ化成工業(株)横浜事業所創業		
1960	昭和 35		戸塚カントリーオープン		
1960	昭和 35	4月1日	川上地区連合町内会発足(8町内会)		

西暦	和暦	月日	旧川上地区の概略史	日本	世界
1961	昭和36	3月	東急コンクリート。現、第一コンクリート(株)		
1962	昭和37	2月15日	舞岡中学校開校		
1963	昭和38	4月1日	平戸平和台町内会結成		
1964	昭和39	4月	山崎製パン(株) 横浜工場操業開始	新潟地震、 東海道新幹線開業	
1964	昭和39	10月10日		東京オリンピック大会	
1965	昭和40	4月1日	平戸幼稚園開園(小笠原平八創設)		ベトナム戦争
1967	昭和42	4月1日	境木小学校開校		
1968	昭和43	4月1日	境木中学校開校		
1969	昭和44	4月1日	柏尾小学校開校	東名高速道路開通	アポロ11号 月面着陸
1969	昭和44	4月1日	川上北小学校開校		
1970	昭和45			万国博覧会(大阪)	
1972	昭和47		吉田町にスーパーダイエー誕生 (現イオン戸塚店:建替中)	沖縄本土復帰	
1972	昭和47	4月1日	平戸小学校開校		
1976	昭和51	4月1日	県立舞岡高校開校	ロッキード事件	
1977	昭和52	11月3日	第1回区民祭り開催		
1979	昭和54	5月10日	吉田消防出張所開設		
1979	昭和54	9月	平戸台小学校開校		
1980	昭和55	10月1日	東戸塚駅開業		
1980	昭和55	10月1日	東海道線(湘南電車) 戸塚駅に停車実現		
1980	昭和55	10月	秋葉立体車道竣工		
1981	昭和56	4月1日	南舞岡小学校開校		
1982	昭和57	7月17日	益田家のモチノキ 県指定天然記念物		
1983	昭和58	4月1日	品濃小学校開校		
1983	昭和58	6月11日	東戸塚消防出張所開設		
1985	昭和60	3月14日	地下鉄舞岡駅開業	日航機墜落事故	
1985	昭和60	4月1日	秋葉小中学校開校(小中一貫校として)		
1986	昭和61	4月	平戸中学校開校		
1987	昭和62	4月	川上地区連合町内会から、舞岡・東戸塚・平戸の各連合町内会が分離独立		
1987	昭和62	5月24日	地下鉄戸塚駅開業	国鉄分割民営化	
1988	昭和63	4月3日	舞岡地区連合町内会・自治会発足		
1988	昭和63	4月	東品濃小学校開校		
1989	平成1	10月	東戸塚地区センター開所		
1990	平成2	4月1日	川上地区から柏尾地区連合町内会分離独立し発足		
1990	平成2	4月22日	平戸地区から平戸平和台地区連合町内会が分離独立し発足		
1990	平成2	5月21日	舞岡リサーチパーク内遺跡の発掘調査		
1992	平成4	12月	舞岡公園の一部開園		
1995	平成7	4月	横浜市立大学木原生物研究所舞岡に移設	阪神・淡路大震災	
1996	平成8		舞岡公園の全面開園		
1997	平成9	5月1日	舞岡ふるさと村総合案内所「虹の家」開村		
1997	平成9	10月1日	平戸地域ケアプラザ開所		
1998	平成10	3月	環状2号線開通		
1998	平成10	5月31日	舞岡地区センター開所		
1999	平成11	10月	福寿観音歩道橋開通		
2000	平成12	6月1日	舞岡柏尾地域ケアプラザ開所		
2000	平成12		環2歩道橋、オーロラモール完成		
2001	平成13			湘南新宿ライン開通	
2007	平成19	11月	舞岡町「立野遺跡」発掘調査		
2011	平成23	3月11日		東日本大震災	

※本編においては、昭和以後の西暦を併記しないこととします。